

高尾山報助成金志納者  
御芳名(順不同・敬称略)  
芳賀郡 岩原 章  
新座市 杉山 粧麗  
八王子市 竹村 啓  
〃 田代 清一  
三鷹市 田中 信夫  
調布市 佐々木 安森  
入間市 (株)建信工業 院  
立川市 正 楽  
日野市 横尾 勲  
板橋区 早船 キヨ子  
いわき市 横山 隆俊  
杉並区 松本 愛子  
秩父市 秩父一心真正講  
八王子市 (株)サンファミ  
八王子市 リー企画  
前橋市 瀬沼 和重  
所沢市 小野 清  
世田谷区 瀬能 茂  
八王子市 廣田 俊道  
〃 松下 重成  
熊谷市 眞板 久美子  
世田谷区 菊地 紀夫  
八王子市 大数 龍子  
〃 神田 辰男  
北群馬郡 須藤 利仁  
杉並区 須藤 ユキ枝  
児玉郡 加藤 正一  
桶川市 関根 章  
本庄市 坂田 修一

川崎市 石井 マン  
小金井市 阿部 成禎  
国立市 岸 常男  
八王子市 羽生沢 光江  
行田市 鈴木 吉野  
〃 鈴木 三代子  
〃 高橋 つや子  
加須市 稲見 せい子  
白石市 八島 文子  
横浜市 福島 光  
八王子市 佐藤 光  
相模原市 菩提鍼灸院 君子  
加須市 塩崎 幸二  
所沢市 木下 福栄  
甲府市 丸山 芳子  
八王子市 設楽 剛吉  
太田市 藤田 良二  
墨田区 片男波 良二  
高尾山健康登山者一同



高尾山報助成金

御志納のお願い

当山では、大護摩修行や星祭り等により御縁を結ばれた御信徒様に高尾山報を送っております。引き続きご愛読されますよう、皆様方の助成金御志納をお願い申し上げます。

## 高尾山 季節散歩

暦の言葉

二十四節気

### 芒種「ぼうしゆ」

芒種は六月五日頃に当ります。この「芒」という字は、稲や麦などのイネ科の植物の穂先に付く、堅い毛のことを意味しています。

そして、「種」という字にあります様に、梅雨が近づくこの時期に、種時きを行います。

今月の行事

### 衣替え

平安時代の宮中では、旧暦の四月一日に夏装束に、旧暦十月一日に冬装束へと改めるしきたりがありました。

現在でも、六月一日と十月一日に衣替えを行うのは、こうした風習の名残となります。

## 健康登山者投稿作品 季節の写真「著莪の花」

八王子市 高岡輝幸様



## 一步一步煩惱滅除

百八の階段を昇り、悩みや煩い事を取り除きましょう

三段 **こせこせしない**  
二段 **心豊かにゆったりと**  
一段 **権力をかさにさせないこと**

## ◎健康登山の皆様へ

高尾山報投稿の御案内

御護摩受付所では、皆さまの『健康』に関する思いや思い出・習慣、又は『健康登山』を通じて経験した出来事などの心温まるお話を聞かせて頂いています。

そこで、皆様のお話を多くの方々に届けたいです。多くの皆さまに、御護摩受付所に『投稿箱』を設置致しまして、皆様から投稿頂いたお話や作品を、『高尾山報』に掲載させて頂いております。

その他、おもしろい体験・変わった出来事・ポエム・俳句等どんなお話でも結構です。是非お聞かせください。御協力宜しくお願致します。

※ 投稿頂きました作品は全て掲載できるような努めますが、当山の判断で掲載しない場合もあります。また、多くの方に投稿頂きました場合、掲載までお時間を頂く場合がございます。すことを御了承下さい。

## 「高尾山健康登山の証」のお勧め

年間約二百八十万の人々が訪れ、「世界一登山者の多い山」として知られている高尾山。登山者の皆様の励みになれば、との思いから平成十一年から健康登山を始め、いまでは約五万人の方々が会員となられております。

期限はございませんので、御自分のペースでお楽しみください。

また、一冊に付き二十一回スタンプを押すペーシがあり、終了したことを満行と言います。満行されますとお祝い膳として、精進料理の御接待や、健康登山者限定の記念品などと交換もできます。



帳面………七百円  
スタンプ…百円

## 厄年を過ぎた御信徒の皆様へ

六十才の厄年を過ぎたなら 一年・一年を

七十才を過ぎたなら 暑さ、寒さを

八十才を過ぎたなら 春夏秋冬を

九十才を過ぎたなら 一日・一日を

気を付けられ

日々を大切に

圓滿にお暮し下さい。

当山では皆様の

身体健全を祈念して

## 福壽圓滿の御護摩を

お申し受け致しております。

## 高尾山の昆虫

### フチグロヤツボシカミキリ



80

ホウノキというモクレン科の高くなる木があり、葉がやたら大きいのが特徴で、遠方からでも識別できます。そのホウノキの葉上に早ければ六月くらいに、メタリックに輝く美麗種の、フチグロヤツボシカミキリが見られることでしょう。

近似種のハンノアカカミキリに似ていますが、よりスマートで、上翅の八つの紋が互いに繋がらないことで、区別できます。

ホウノキの葉を丹念に見ていくと、細い直線状の食痕が眼に入り、本種が加害していることが確認できると同時に、大きな葉に小さな本種のコントラストが印象的です。

ただ、慣れないと見つけることは簡単ではなく、首も疲れます。

金属光沢のある色彩から、典型的な昼行性のカミキリと思われれますが、日中よりも午前中や夕刻の方が見つけやすいと感じます。

興味深いのは、夜間に灯りが灯った自販機等でその姿を見かけることです。

当初偶発的なことかと思いましたが、毎年のようにそんな光景に出会うことから、見かけによらず多様性があるのでしょうか。

(文・撮影 松島 孝)